

一般質問



基金の活用で国保税の引下げを



日本共産党湖南市議員団 ● 立入 善治 議員

**問** 国保税の算定は市の裁量。加入者の負担減へ「基金」「繰越金」などの活用について

**答** 保険料率は県が示す標準保険料を参考。前年度の繰越金や基金の保有状況を踏まえ、次年度の当初予算に組み込んでいきます。

**問** 資格証明書、短期保険証の発行実態は。

**答** 令和元年8月1日時点で短期証318世帯、資格証の交付は2世帯でした。

**職員が気持ち良く仕事に打ち込める環境へ**

**問** 職員の健康管理の実態、職員のモチベーションを上げる対策

**答** メンタル不調から休職した人に復帰を目指したりハビプログラム(リワーク)への参加を考えています。体調不調の克服策はストレスをためないことが

大切。市の産業医に委嘱をしています。優秀な職員に対し勤勉手当の支給率を引き上げます。

**問** 文化体育振興事業団の今後について

**答** 事業団の定款にある設置目的に則り文化体育事業に寄与していただくのと考えている。職員の処遇については、公益財団法人のことであり、市として答弁できない。

**指定管理の見直しを**

**問** 問題を抱えている指定管理者の実態をみても、現在の指定管理を見直すべきでは。

**答** 既存施設において期間が満了するとき、その施設の設置目的、今後の管理運営のあり方について精査し、施設の性質や現状を見て直営に戻すことも検討します。



まちづくりについて!



誠心会 ● 小林 義典 議員

**このまちに住み続けたいと思えるまちづくりについて!**

**問** 2019年の住みよさランキングを見ますと全国812市区で湖南市は595位で、県内においては13位であるが、この結果を受けての考えについて

**答** この調査の算出指数としては、安心度、利便度、快適度、富裕度の4つの視点から、22のデータをを用いて算出しています。指数別の順位には幅がありますが、総合計画のアンケート結果でも、住み心地やまちの愛着について約70%の市民の皆さんが住みやすいと回答されています。また、本市に暮らす皆さんの満足度を上げ、ランキング指数を上げるためにも、あるもの探しを行い、本市の特性を最大限に生かしていく取

り組みを進めます。

**問** 後継者不足、担い手不足と言われて久しい今後の農業について。

**答** 担い手の現状は、認定経営体で個人が15経営体、法人が11経営体でその内集落営農法人が6経営体となっています。いずれも担い手は高齢者が主体で後継者不足は深刻です。担い手不足解消の手段として、市民農業塾の開催で伝統野菜の栽培やチャレンジ農園で担い手養成を行っています。

**問** 松籟会館の建築着工が遅れたことについて

**答** 厚生労働省へ県からも働きかけて頂きましたが、補助金の内示決定が令和2年2月1日に遅延しました。次年度において地域の皆さんの要望に答えられるよう進めます。